平成３０年度

奈良県必要医師数実態調査　記入要領

《医療機関調査票》

【総括的事項】

１．調査の目的

本調査の目的は、各病院が必要と考えている医師数等について、直近の状況を把握することにより、本県の医師確保対策を一層効果的に推進していくことにあります。

本調査に係る情報については、奈良県立医科大学・地域医療学講座において分析・統計処理を行い、個別の医療機関が特定されない形で利用、公表します。

なお、本調査の結果を医療法第２５条第１項の規定に基づく立入検査（いわゆる医療監視）のために使用することはありません。

２．定義

本調査における用語を、次のとおり定義します。

◆「必要医師数」：貴院が診療機能を維持するために必要な現員医師数を含めた医師数。

ただし、

1. 地域医療構想の達成に向け「医療機能の転換」を行うために必要な医師については、必要医師数として計上してください。
2. ①以外の、病床数の増などの事業展開を行うために必要な医師については、必要医師数として計上しないでください。
3. 医師が確保できないためやむなく診療科休診、病棟閉鎖をしている場合で、当該診療科、当該病棟を再開するための医師については、必要医師数として計上してください。

◆「正規雇用」：１日の所定労働時間が８時間程度で週５日勤務を基本（いわゆるフルタイム）とし、期間の定めのない労働契約を締結している場合の勤務形態

＊年俸制等の労働契約を締結している場合であっても、各医療機関の判断により、上記に該当する場合は正規雇用としてください。

◆「短時間正規雇用」：上記①の医師に比し、その所定労働時間が短いものの、時間当たりの基本給及び賞与・退職金等の換算方法等が上記①の医師と同等で、期間の定めのない労働契約を締結している場合の勤務形態

◆「非常勤」：正規雇用、短時間正規雇用以外の勤務形態

３．調査時点

平成３０年１２月３１日現在とします。

１．現員医師数

（１）「主たる診療科」とは、当該医師が専門性を有して診療されている診療科とします。（専門医資格の有無は問いません。）

複数の診療科で専門性を有して診療されている場合は、最も従事頻度の高い診療科１つに絞って計上してください。

なお、当該医師の専門性の有無について判断が困難である場合は、当該医師が診療されている標榜診療科を「主たる診療科」としてご回答ください。

（２）「初期臨床研修医」については、基幹型病院と協力病院でプログラムが組まれている場合、調査日時点で研修中の病院側で計上してください。

（３）「勤務形態」については用語の定義を踏まえて分類してください。

（４）「常勤換算」については週当たり延べ勤務時間数を４０時間で除した値を記入してください。

【例】内科に下記Ａ～Ｆの６名が勤務している場合。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 正規雇用：男性医師Ａ正規雇用：女性医師Ｂ短時間正規雇用：男性医師Ｃ（週当たり24時間/40時間勤務）短時間正規雇用：女性医師Ｄ（週当たり32時間/40時間勤務）非常勤：男性医師Ｅ（週当たり24時間/40時間勤務）非常勤：女性医師Ｆ（週当たり　８時間/40時間勤務） |  | 正規雇用：医師数２名（うち女性１名）短時間正規雇用：医師数２名（うち女性１名）、【常勤換算数１．４名（うち女性０．８名）】非常勤：医師数２名（うち女性１名）、【常勤換算数０．８名（うち女性０．２名）】 |

 |  |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 主たる診療科 | 常勤換算合計(A＝B＋F＋J) | 正規雇用医師数(B) |  | 短時間正規雇用数(D) |  | (D)の常勤換算（F） |  | 非常勤数(H) |  | （H）の常勤換算（J） |  |
| うち女性(C) | うち女性(E) | うち女性(C) | うち女性(I) | うち女性(K) |
| 内科 | **４．２** | **２** | **１** | **２** | **１** | **１．４** | **０．８** | **２** | **１** | **０．８** | **０．２** |
| 呼吸器内科 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 循環器内科 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 消化器内科 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 腎臓内科 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| … |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

２．必要医師数

（１）現員医師数と同様の手順により、貴施設が診療機能を維持するために必要と考える医師数を記入してください。

（再掲）◆「必要医師数」：貴院が診療機能を維持するために必要な、現員医師数を含めた医師数。

ただし、病床数の増などの事業展開は行わないことを前提とします。

なお、医師が確保できないためやむなく診療科休診、病棟閉鎖をしている場合で、当該診療科・病棟を再開するための医師については、必要医師数として計上してください。

【例】内科について、現員６名（現員医師数の例を参照）に加え、正規雇用の消化器内科医１名と、非常勤の内科医１名（週当たり延べ２４時間勤務）が必要だと考えている場合。

＜現員＞内科医師Ａ～Ｆ

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 正規雇用：医師Ａ正規雇用：医師Ｂ短時間正規雇用：医師Ｃ（週当たり24時間/40時間勤務）短時間正規雇用：医師Ｄ（週当たり32時間/40時間勤務）非常勤：医師Ｅ（週当たり24時間/40時間勤務）非常勤：医師Ｆ（週当たり　８時間/40時間勤務） |  | 正規雇用：医師数２名短時間正規雇用：医師数２名、【常勤換算数１．４名】非常勤：医師数２名【常勤換算数０．８名】 |

 |  |  |

＜新たに必要＞消化器内科医師Ｇ、内科医師Ｈ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 正規雇用：医師Ｇ非常勤：医師Ｈ（週当たり24時間/40時間勤務） |  | 正規雇用：医師数１名非常勤：医師数１名【常勤換算数０.６名】 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 主たる診療科 | 常勤換算合計（A=B+E+G） |  |  |  |  |  | … |
| 正規雇用医師数(B) | 短時間正規雇用数(D) |  | 非常勤数(F) |  |
| 常勤換算(E) | 常勤換算(G) |  |
| 内科 | **４．８** | **２** | **２** | **１．４** | **３** | **１．４** |  |
| 呼吸器内科 |  |  |  |  |  |  |  |
| 循環器内科 |  |  |  |  |  |  |  |
| 消化器内科 | **１** | **１** |  |  |  |  |  |
| 腎臓内科 |  |  |  |  |  |  |  |
| … |  |  |  |  |  |  |  |

（２）「必要とする理由」については、該当する番号を選択の上、下記の例を参考に具体的内容を記入してください。

　　　また、「求人方法」についても、該当する番頭を選択の上、４を選択した場合は、下記の例を参考に具体的な方法を記入してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| … | 必要とする理由（複数回答可） | 求人方法（複数回答可） |
| … |
|  | … | 選択肢 | 具体的内容 | 選択肢 | 具体的な方法 |
|  |  | １ | ○ | 2020年度より勤務間インターバル（原則８時間／夜勤後・当直明け１２時間）を導入するため。 | １ |  |  |
| ２ |  |  | ２ |  |  |
| ３ | ○ | 医師２名（内科系１名、外科系１名）以上による当直体制を確立するため。 | ３ |  |  |
| ４ |  |  | ４ | ○ | 医学雑誌求人広告 |
|  |  | １ |  |  | １ |  |  |
| ２ | ○ | 急性期病床１０床を回復期病床へ転換するとともに、新たに診療科としてリハビリテーション科を新設するため。 | ２ |  |  |
| ３ |  |  | ３ |  |  |
| ４ | ○ | ５人体制で診療していたが、2018年に２人退職し、現在３人体制となっているため。 | ４ |  |  |
| … | … | １ | … | … | １ | … | … |
| ２ | … | … | ２ | … | … |

「必要とする理由」欄

　以下の１～４のうち、該当する選択肢に「○」を入力してください。

　また、具体的内容は以下の例を参考にしてください。

１．現員医師の負担軽減

２．地域医療構想の推進

３．救急医療への対応

４．その他

「求人方法」欄

　以下の１～４のうち、該当する選択肢に「○」を入力してください。

　また、具体的な方法は以下の例を参考にしてください。

大学(医局等)へ依頼

②民間業者へ依頼

③県ドクターバンクへの登録

④その他